



お問 株式会社 鈴鹿コミュニティー ☎ 059-375-2255
〒518-0825 三重県鈴鹿市佳吉町8947 FAX: 059-375-6633
URL: <http://nomu-bb.com/> E-mail: info@nomu-bb.com

街かど安心安全ラジオ事業

県域FM 放送局版 飲む防災® 防災ラジオ付き自動販売機

地域の緊急情報を自動販売機から街行く人に直接伝える



紹介動画

こちらから説明動画
をご覧ください
(約3分)



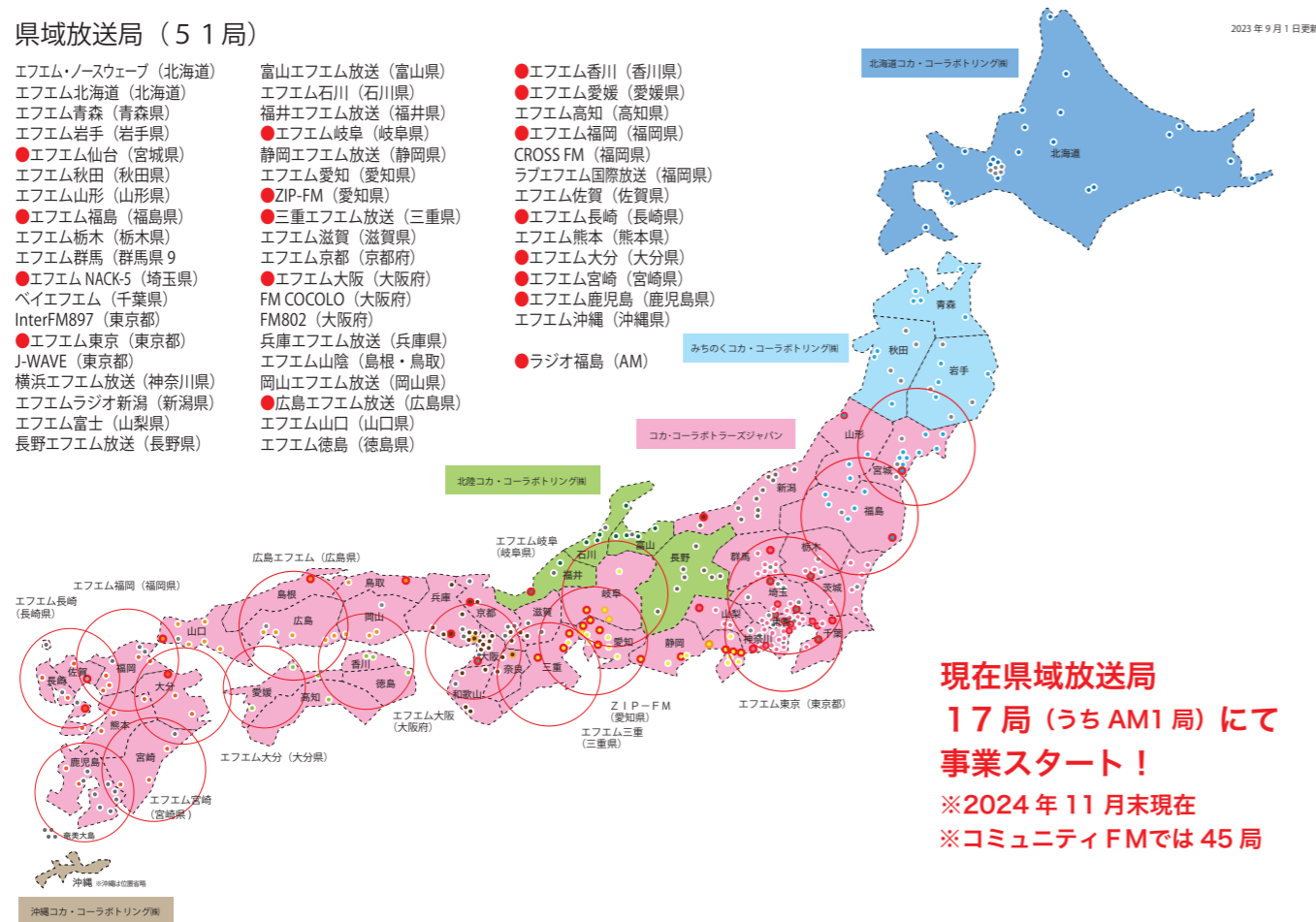
事業説明 2024.12.05

全国への設置普及に向けて

全国どこにでも置けるといふ県域放送局版の最大のメリットを生かし、今後全国へと展開して参ります。もちろんコミュニティFM版の市町村に関するきめ細やかさも生かしながら、適材適所の導入を進めて参ります。

県域放送局（51局）

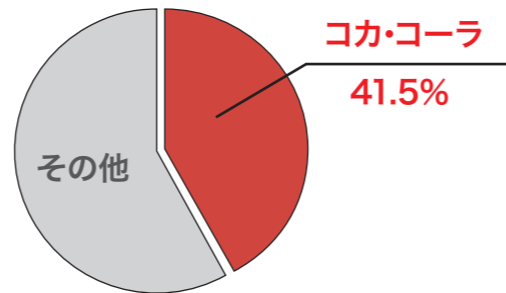
- エフエム・ノースウェーブ（北海道）
- エフエム北海道（北海道）
- エフエム青森（青森県）
- エフエム岩手（岩手県）
- エフエム仙台（宮城県）
- エフエム秋田（秋田県）
- エフエム山形（山形県）
- エフエム福島（福島県）
- エフエム栃木（栃木県）
- エフエム群馬（群馬県）
- エフエムNACK-5（埼玉県）
- ベイエフエム（千葉県）
- InterFM897（東京都）
- エフエム東京（東京都）
- J-WAVE（東京都）
- 横浜エフエム放送（神奈川県）
- エフエムラジオ新潟（新潟県）
- エフエム富士（山梨県）
- 長野エフエム放送（長野県）
- 富山エフエム放送（富山県）
- エフエム石川（石川県）
- 福井エフエム放送（福井県）
- エフエム岐阜（岐阜県）
- 静岡エフエム放送（静岡県）
- エフエム愛知（愛知県）
- ZIP-FM（愛知県）
- 三重エフエム放送（三重県）
- エフエム滋賀（滋賀県）
- エフエム京都（京都府）
- エフエム大阪（大阪府）
- FM COCOLO（大阪府）
- FM802（大阪府）
- 兵庫エフエム放送（兵庫県）
- エフエム山陰（鳥根・鳥取）
- 岡山エフエム放送（岡山県）
- 広島エフエム放送（広島県）
- エフエム山口（山口県）
- エフエム徳島（徳島県）
- エフエム香川（香川県）
- エフエム愛媛（愛媛県）
- エフエム高知（高知県）
- エフエム福岡（福岡県）
- CROSS FM（福岡県）
- ラフエフエム国際放送（福岡県）
- エフエム佐賀（佐賀県）
- エフエム長崎（長崎県）
- エフエム熊本（熊本県）
- エフエム大分（大分県）
- エフエム宮崎（宮崎県）
- エフエム鹿児島（鹿児島県）
- エフエム沖縄（沖縄県）
- ラジオ福島（AM）



現在県域放送局
17局（うちAM1局）にて
事業スタート！
※2024年11月末現在
※コミュニティFMでは45局

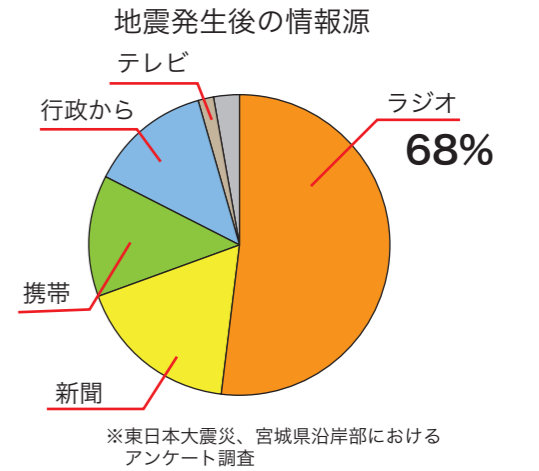
設置台数目標

清涼飲料水の自動販売機（牛乳や酒の販売機を除く、ジュースの販売機）は約212万台。このうち88万台がコカ・コーラ自販機で、シェアは41.5%に上っています。当事業では圧倒的なシェアがあり、全国どこにでも設置が可能なコカ・コーラ社の協力の下、設置を普及して参ります。またコカ・コーラ以外の飲料メーカーにも対応しており、設置先の意向で選ぶことも可能です。



災害時はラジオが「命綱」

乾電池でも動作し自動車にはほぼ100%搭載されているラジオは、大きな災害時には最後まで残るメディアと言われています。実際に東日本大震災では、災害発生直後に利用したメディアとしては、ラジオが68%と最も高く、また発生後1週間で見ると、ラジオは76%へと上昇しています。



そのラジオを活用し、自動販売機から取り付けたラジオから街行く人に緊急情報を伝達する、街かど安心安全ラジオ「飲む防災、飲む防犯」事業。この事業は当初、全国のコミュニティFMにてスタート致しました。コミュニティFMは阪神淡路大震災をきっかけに全国に順次開局しており、放送エリアが市町村域に限ることから地域密着のお知らせを伝える手段として期待されています。しかしコミュニティFMの全国カバー率はわずか19%に留まっており、また電波は20Wという限られた出力のため、放送エリア内であっても電波が届きにくいという欠点もあります。

コミュニティFM方式の問題点

- コミュニティFMが全ての市区町村をカバーしていない
全国1,718市町村に対し、コミュニティFMは335局（2021年3月現在）
= 全体の約19%の市町村しかコミュニティFMが開局していない
- コミュニティFMの限られた電波出力（最大20W）では放送エリア内でも電波が届かない地域が多く、建物の中では殆ど受信できない

県域放送局方式のメリット

- 日本全国、ほぼ全てのエリア（都道府県）をカバー
- 出力が大きく、広いエリアで聴取でき、屋内でも良好に受信可能
コミュニティFMの20Wに対し、**県域放送10kW=10,000W**

この防災防犯ラジオ付き自動販売機を全国へ普及させるために、県域放送局を利用した仕組みもスタートさせました。県域放送局は名の通り都道府県単位をカバーするラジオ放送局であり、都市部から山間部まで広くカバーしています。

近い将来には確実に起こる大災害に備え、この県域放送局版「飲む防災・飲む防犯」の普及に努めて参ります。

飲む防災、飲む防犯自販機の特徴

街中であって普段から電源に接続されている「自動販売機」に防災ラジオを取り付け、ラジオ局が放送する緊急情報を街中に流すことができる仕組みが、**街かど安心安全ラジオ事業「飲む防災、飲む防犯」**です。

莫大な予算で設置される防災スピーカー（同報行政無線）に比べ、すべて民間の力で設置普及でき、また駅前や商店街など人の集まる場所に設置できるメリットがあります。

	防災スピーカー	ラジオ受信機	飲む防災、飲む防犯
大規模災害時の緊急放送	◎	○	◎ 内蔵電池により約2日間放送可能
防犯のお知らせ	—	○	◎ 犯罪の起きやすい街角に直接放送
犯罪抑止力	—	△	◎ 不審者情報が放送されるという抑止力
暴風時の聴取性	×	◎	◎ ビルのロビーや駅構内などで放送
設置コスト	×	△	◎ すべて民間のためコストはゼロ

● 停電に強い

バッテリーを内蔵しており、停電が発生しても**約2日間**、情報を伝達可能。中間のケーブルや中継器を必要としないラジオだからこそ、災害時に効果を発揮します。



● 広い範囲 … 半径 100m

自販機を設置した場所の半径約100メートルの範囲に音声を伝えることができます。(ボリューム最大時)



● ボリューム機能

設置箇所に応じて音量を調整可能です。屋外、屋内どちらにも設置可能で、病院の待合室や企業のロビーなど普段人が多く集まる場所に設置が効果的です。



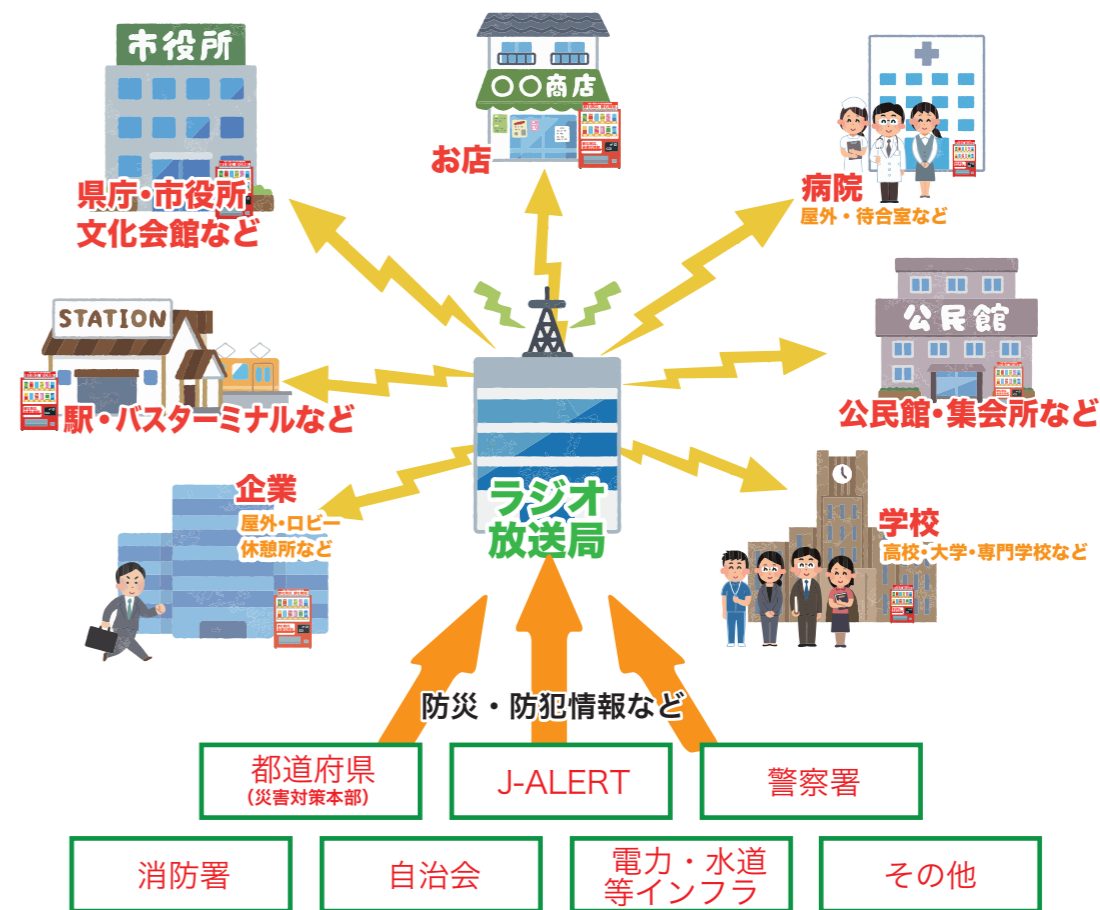
● 費用負担ゼロ

自動販売機の設置、管理、運営、取り付ける防災ラジオ受信機はすべてベンダー会社が負担します。放送局にも設置先にも負担を掛けることなく、置くことができます。



設置イメージ

屋内外問わず、人が多く集まる場所に設置することで、市民へ重要な情報を伝達することに役立ちます。



※ どのような情報を放送を行うかは、それぞれの放送局の放送指針や局と都道府県との協定等に基づきます。

動作イメージを動画でご覧頂けます。
スマホで下のQRコードを読み込んでアクセスしてください。

